



防災訓練より

今年はじっくり防災訓練

11月6日70名が参加

「一回程度 消防車の出動がありましたが、初期消火が功を奏し、大事に至らずにすみました。

又、初期消火の要もある、消防器の操作訓練を行いました。いざという時に慌てないためにも、繰り返しの訓練が必要だと実感いたしました。

多數の方の御参加、ありがとうございました。

多発する延焼火災をはじめとして、多數の死傷者を出した何件かの火災

『火事ダービー』消防自動車のけたたましいサイレンの音、煙が勢いよく吹き出しやがて炎もベランダをなめるように吹き出していく。——これは去る七月三十日十四号棟の火災の時、多くの皆様が目にし、た光景です。

焼しました。現場では、「なぜなかなか鎮火しないのか」、「階下への水漏れは」、「火事の原因は何か?」、「人はいたのか」などさまざまな声が聞かれました。

こうしたことをふまえて、今年の防災訓練は、(1)火災の原因と初期の対応 (2)最近のマンション火災の事例などについて、志村消防署成増出張所長の長瀬さんから、お話しをしていただきました。同時にVTRにより視覚的にも学びました。

等々について意見がかわされましたが、以上のことは、住みやすく、きれいな、しかも安全なゆり北にしていくくための一部分であります。すべて役員だけではどうにもならないことがあります。会員の皆様方の協力が必要です。以下にスケジュールならびに場所、方法を載せますのでよろしくお願ひいたします。

(1) 年末大掃除

四

ゆり北・新シールに 貼りかえて下さい

自治会役員や自衛消防隊のみが訓練に参加したり、防火講習に参加するだけではダメです。火災の初期の段階に直面するのは、貴方です。そこで身近な防災活動上の留意事項を列記します。

一、火災発生

①火災を発見したら

(1)火事だ！（大声で、ドア等をたたいて知らせる）

事例をみると、初期活動に対する心の油断が大惨事をまねいていると言つても過言ではありません。日頃から防火に対し細心の注意を払い、防災訓練を実施し、火災を発見したら「火事だ！」と大声で回りに知らせ、非常ベルと一一九番の通報の要領、そして初期消火のための消火器の使い方を習熟しているなら、例え火災が発生しても大惨事は免れたはずで

⑤シールを貼つていないものを撤去・集積する。

⑥団地外の住所・名氏が記名されているものは引取りを連絡する。バイクは「ナンバー」を登録区に連絡し、区から所有者に引取りを依頼する。

⑦区に引き渡す。(一月下旬(

(3) 物を持たない

二、平常の火の用心

① 火気設備の点検
(ガス器具・タバコ等)

② 電気設備の点検
(コンセント・スイッチ・ヒューズ・配線等)

③ 危険物の点検
(油・ガソリン・シンナー等)

④ 消防設備の点検

- (2) 非常ベルを鳴らす
- (3) 一一九番する
- (2) 初期消火は
 - (1) 水をかける（消火器、水バケツ）
 - (2) 燃えるものをのぞく
 - (3) ドアを閉める（空気を遮断）
- (3) 避難誘導は
 - (1) 避難方向を示す
 - （階段の位置、ベランダ）
 - (2) エレベーターを使用しない
 - (3) 一時避難場所を示す

車のチェック

②定期パトロール

期間——月三回程度（十二月）
時間——十時～十一時

方法——自治会（役員）、住宅管理組合（理事）で団地一巡、各回三名程度

目的は年末パトロールと同

人、又気持が悪い人などさまざまですね。思いがあるようです。

（消火器・ベル・感知器等）

三、その他

- ①ベランダ・階段・通路等に避難の障害になるものを置かない。
- ②建物周辺の整理・整頓（放火されないように）
- ③違法駐車をしない

階の人の目にふれる程長くたら
れたシーツ、毛布等があります。
三、コミュニティーホールでの青少
年の飲食・喫煙の散らかし及び深
夜までのたむろ

四、ペットの問題

この団地では各家庭でペットを
飼う事は禁じられております。

最近「よしや」付近の野良ネコに
えさをあげる人がいるそうです。
不衛生だと思う人、ネコを恐が

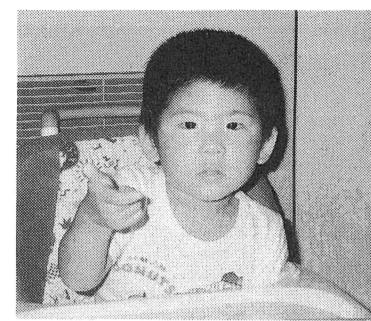
第126号（12期第6号）

東京都板橋区赤塚新町

みんなで守るうまいよいやり北
大掃除は12月18日(日)です

(3) パトロール ① 年末パトロール

自分は良くて
他人はいやだ!!



K太郎

二歳・六ヶ月

結果は六位でも満足です

たのしかつたよ運動会

ボクは十月九日、薄曇りの日曜日に両親と四ヶ月の妹と一緒に区民運動会に初めて参加した。

母は珍しく早朝から起きて、いつものようにお料理の本を見ながらボクのお弁当を作ってくれた。父が『日曜なのに、もう少し眠せてよ』といって寝過ごしたので、集合時間には間に合わなかつたけれど、四人で歩いて会場の下赤塚小学校に向かつた。ゆり北地区は久しぶりに多くの参加者だということだつた。ボクと妹もメンバーに入れての話かな。他の地区からも老若男女が多数参加していくとともにぎやかだつた。ボクには意味のわからない挨拶の

ボクは十月九日、薄曇りの日曜日に両親と四ヶ月の妹と一緒に区民運動会に初めて参加した。

母は珍しく早朝から起きて、いつ

ものようにお料理の本を見ながらボクのお弁当を作ってくれた。父が『日曜なのに、もう少し眠せてよ』といって寝過ごしたので、集合時間には間に合わなかつたけれど、四人で歩いて会場の下赤塚小学校に向かつた。ゆり北地区は久しぶりに多くの参加者だということだつた。ボクと妹もメンバーに入れての話かな。他の地区からも老若男女が多数参加していくとともにぎやかだつた。ボクには意味のわからない挨拶の

後、みんなで運動場いっぱいに広がつて準備体操をした。体操が終わるころにはとても暑くなつてきて、寒がりの父はジャンパーとトレーナーを脱いでも顔が赤くなつて、『体を動かすのは久しぶりだからなー』と気まずそうに言いながら、周りを見回して楽ししそうであった。母は久しぶりに体を動かして楽ししそうであった。ボクは少し恥ずかしくて、皆の顔を見られなかつた、妹はベビーカーに乗つてじつくりと皆の様子を観察しているようだつた。

最初の競技は徒競走で、ボクたち

の地区から参加したお兄さんが一等

賞を取つた。父は最近特に目立つて

きたお腹のあたりを隠しながら、『ぼくは個人競技は苦手だよ』といつて

参加しなかつた。母は『子供のころ

は運動会ではいつもリレーの選手に

選ばれていたのよ』と自慢していた

が、授乳中でオッパイがボインボイ

ンと邪魔をして実力を發揮できそ

はないからと残念ながら参加しなか

つた。でも、ボクは母が昔のよう

に参加していた。中学生の大きなお姉さ

んやおばさんたちと一緒に参加した。

初めは調子良く蹴つたり、走つたり

していた母だが、頑張ろうとい

う意気込みとは裏腹に、ゴール間近

で転んでしまい、膝小僧を擦りむい

てしまつた。やつぱり母はドジだつ

た。こんなに頑張ったのに参加賞だ

つた。でもビリでなくて良かつた。

母は擦りむいて血がにじんでいる膝

を引きずりながら、参加賞のねりカ

ラシを手に不服そだつた。消毒し

てもらいにいった救護班のところに

は母みたいな人がたくさんいた。

お昼のお弁当はとてもおいしく、

じさんやおばさんたちはにがい水を

飲んで赤い顔をして横になつたり、

いびきをかいたり、樂しい時を過ご

していた。

アキシデントと言えば、途中でボ

クが迷子になりそになつた。ボク

がトイレから出でると父は中学生

のお姉さんたちのブラスバンドを熱

心に見ていて、ボクに気づかなかつ

た。ボクはテクテク歩きながらグラ

は出るつもりではなかつたが、町内

会のおじさんから熱心に勧められ、

『参加賞はお菓子だよ、ボク出てみ

たら』と言う言葉に釣られて参加し

て現在は自分で踊り自分で歌つて樂

しむというように変つてまいりました。

踊りは全身を動かすので、健康上にもよろしいと思いま

る。この競技では両親が出ないの

ではなく、太つたからだと思つて

いた。ボクは父がこ

ろんでビリになるのではないかと心

配だつた。父たちは頑張つて二等賞

だつた。母のチームも頑張つたが参

加賞だつた。その次は大きなボール

四個をバトンの替りに持つて走るリ

レー競走だつた。父のチームはボー

ルの受け渡しも上手にやつて一等賞

だつた。父は『ハーハー』と息を切

らせながら一等賞の洗剤をママに渡

し、得意そな顔をしていた。『団体

競技で良かつたね、パパ。』

ボクは幼児競争に参加した。最初

だけだつた。

ボクは幼児競争に参加した。最初